

健全な財政を維持しています

健全化基準はすべてクリア

本市の平成24年度の健全化判断比率および資金不足比率については、前年度と比べて、実質公債費比率が1.7%改善するなど、引き続き国が定める早期健全化基準を達成しています。

しかし、少子高齢化による社会保障費の増加、国や県の厳しい財政状況を考えると、引き続き行財政改革等に取り組む必要があります。



高梁市の指標の範囲

区 分			対象会計等	財政健全化法			
地方公共団体	一般会計		一般会計	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	
	特別会計	普通会計	へき地診療所特別会計				
			養護老人ホーム特別会計				
			軽費老人ホーム特別会計				
			住宅新築資金等貸付事業特別会計				
			畑地かんがい事業特別会計				
	公営事業会計	法適用 公営企業会計	国民健康保険特別会計	資金不足比率			将来負担比率
			後期高齢者医療特別会計				
			介護保険特別会計				
			特別養護老人ホーム特別会計				
			水道事業特別会計				
			国民健康保険成羽病院事業会計				
			簡易水道事業特別会計				
			下水道事業特別会計				
			地域開発事業特別会計				
一部事務組合・広域連合			高梁地域事務組合				
			岡山県市町村総合事務組合				
			岡山県後期高齢者医療広域連合				
			岡山県市町村税整理組合				
			岡山県広域水道企業団				
地方公社・第三セクター等			高梁市土地開発公社				
			公益財団法人成羽町美術振興財団				
			株式会社夢ファーム有漢				

健全化判断比率 (%)

指標	23年度	24年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	-	12.76	20.00
連結実質赤字比率	-	-	17.76	30.00
実質公債費比率	16.0	14.3	25.0	35.0
将来負担比率	98.5	76.9	350.0	-

※実質赤字比率、連結実質赤字比率の「-」は黒字を表す。

実質赤字比率

普通会計における赤字額の大きさを示す比率。

連結実質赤字比率

市の全会計における赤字額合計の大きさを示す比率。

実質公債費比率

市の収入に対する公債費（毎年の借金の返済額）の割合を示す比率。

将来負担比率

公社や出資法人も含め、市が将来支払う可能性がある負債の一般会計に対する比率。

資金不足比率

公営企業特別会計で、営業収益に対する手持ち資金の不足額の比率。（いずれの公営企業会計も資金不足比率は発生していない）

【普通会計】を市民1人当りに換算すると…

（人口33,731人：平成25年3月31日現在）

（歳出）サービスに使ったお金 676,458円
（歳入）納められた市税 108,089円

教育費



64,935円

総務費



108,813円

衛生費



75,535円

民生費



148,148円

土木費



63,531円

公債費



107,582円

消防費



31,147円

農林水産業費



33,148円

その他



43,619円

企業会計名	収益的収支		資本的収支
水道事業	収入	2億8783万円	403万円
	支出	3億591万円	1億6419万円
成羽病院事業	収入	11億2252万円	9億7528万円
	支出	15億9753万円	14億8787万円

企業会計名	収益的収支損益計算（税抜）		純利益
水道事業	総収益	2億7961万円	△1860万円
	総費用	2億9821万円	
成羽病院事業	総収益	11億2035万円	△4億8438万円
	総費用	16億473万円	

用語の解説

収益的収支／運営費や維持管理費に要する経費や財源
資本的収支／建設および企業債償還に要する経費や財源

特別会計名	収入①	支出②	実質収支①-②
国民健康保険	(事業勘定) 41億8113万円	40億6923万円	1億1190万円
	(直診勘定) 7209万円	7209万円	0円
後期高齢者医療	4億9087万円	4億9025万円	62万円
介護保険	(事業勘定) 40億8222万円	40億5097万円	3125万円
	(サービス勘定) 9005万円	9005万円	0円
特別養護老人ホーム	2億4426万円	2億3859万円	567万円
簡易水道事業	10億4234万円	10億4108万円	0円
下水道事業	14億146万円	14億145万円	1万円
地域開発事業	1億589万円	7240万円	3349万円
巨瀬財産区	729万円	591万円	138万円
宇治財産区	512万円	327万円	185万円
有漢財産区	25万円	14万円	11万円

10の特別会計（普通会計に含まれる5特別会計を除く）全てで、実質収支は黒字となりました。

また、特別会計の実質収支の合計額は、1億8628万円となりました。

※ただし、簡易水道事業は、翌年度繰越財源126万円を計算に入れています。

公営企業会計

特別会計

継続できる農業の推進

農業用機械等整備事業 (608万円)



耕作放棄地の増加を防ぐため、農業用機械整備の費用を補助

耕作放棄地遊休農地解消事業 (9万円)



耕作放棄地へのフキ栽培を推奨

健康に暮らせる生活の支援

高齢者外出サポート事業 (38万円)



高齢者の外出支援のため、シニアカー等の購入費用の一部助成

各種がん検診事業 (2829万円)



がんの早期発見治療のため、各種がん検診を実施

環境にやさしいまちづくり

里山林再生事業 (1126万円)



山里守り隊を結成し、公募により選定された天然林を整備

資源循環型社会推進事業 (41万円)



生ごみをたい肥化し、有効利用する取り組みを実施

歴史的風致維持向上計画の推進

武家屋敷通り景観修景事業 (1800万円)



石火矢町武家屋敷通りを美装化し歴史的な町並みを整備

「城下町散策絵図」作成 (20万円)



古い町並みの特徴を盛り込んだ「城下町散策絵図」を作成

多様な交流活動の推進

文化・スポーツ交流事業奨励金 (79万円)



市内の社会教育・体育施設を利用して行う交流活動を奨励

備中松山城御前堀トイレ改修事業 (147万円)



観光客が利用しやすいトイレへ改修